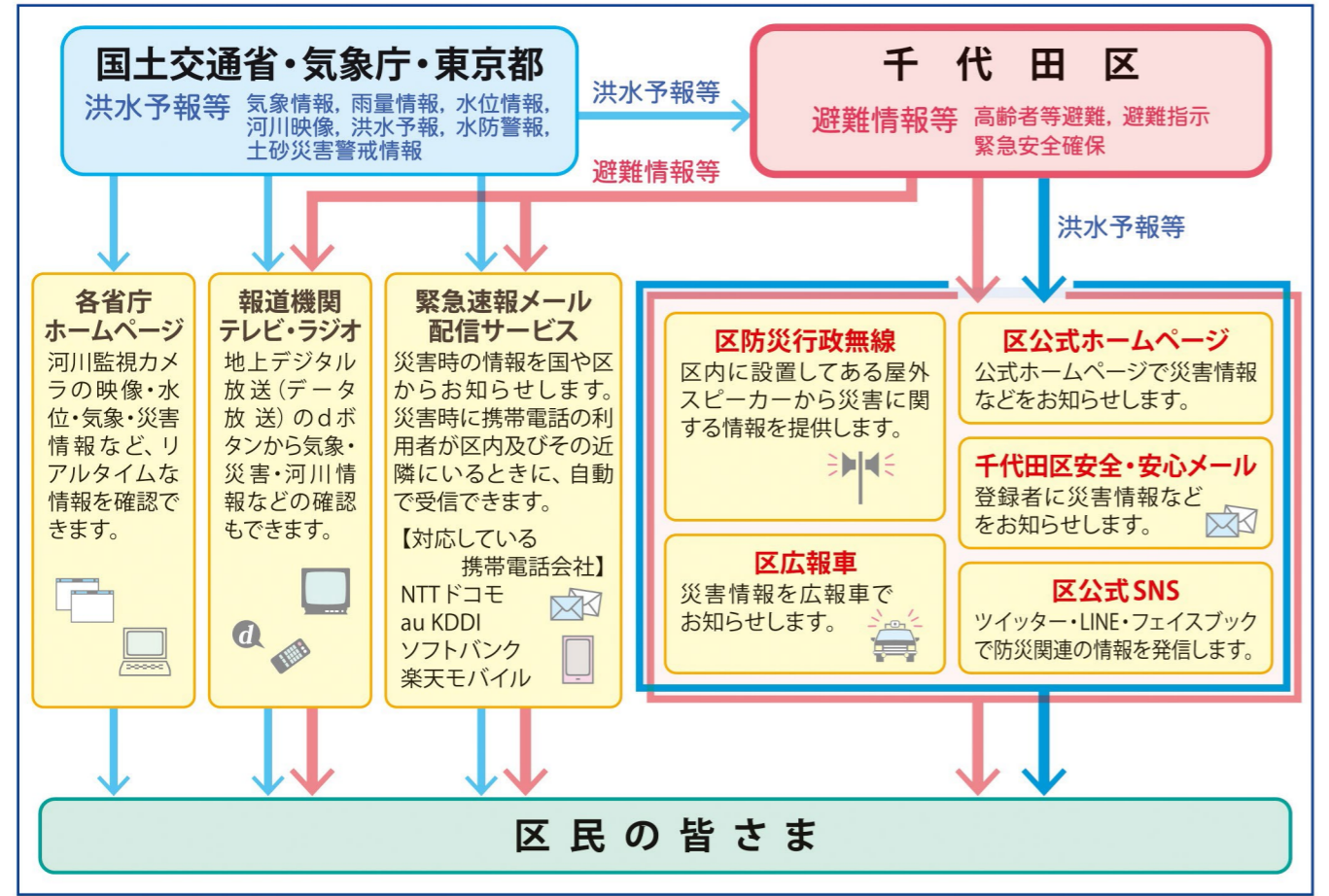


千代田区の地形



千代田区の地形は、皇居より東側の低地部と、西側の台地部に分けることができます。
 低地部は、日比谷入江と呼ばれた浅い海を埋め立てた現在の日比谷から大手町に至る一帯と、江戸前島と呼ばれた埋没段丘面の現在の神田から飯田橋の一帯に分けることができます。また、神田川や千鳥ヶ淵などは、台地部を開析した谷の跡です。
 低地部のうち、神田一帯は文字どおり下町と呼ばれており、また、日比谷一帯は江戸時代に埋立が行われ、標高2～5m前後の平坦な土地となっています。
 台地部は淀橋台と呼ばれる洪積台地の東縁に当たります。現在皇居となっている江戸城は、この台地の先端に本丸を築き、東側の低地部や開析谷を利用した濠をめぐらしています。

避難情報の伝達方法と経路



情報の入手方法と避難行動判断フロー

大型の台風が接近しているときなどは、事前に気象情報を入手し、早め早めに行動することが大切です。特に下記の情報は避難の判断をする際に重要になる情報ですので、しっかりと確認しましょう。

- ・台風の進路
- ・今後の風雨の予想（ピークの時間）
- ・河川の水位情報
- ・土砂災害等の危険度分布



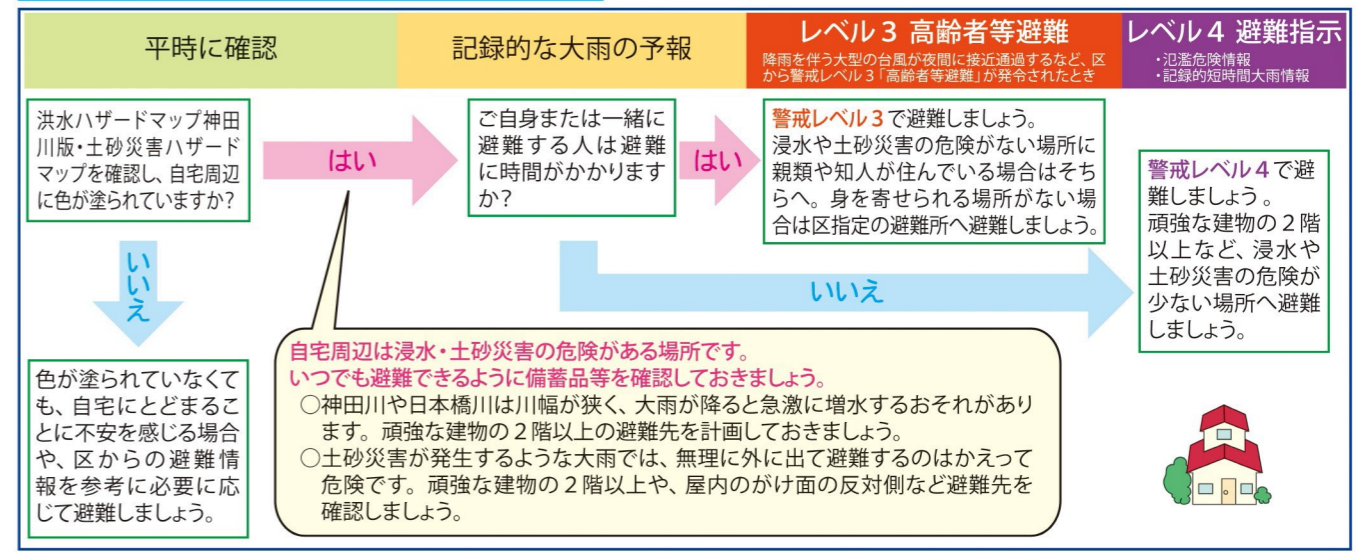
【情報入手先】

- ・災害情報：千代田区安全・安心メール
- ・気象情報全般：気象庁HP
- ・河川の水位情報：①千代田区河川情報システム
②荒川下流河川事務所HP

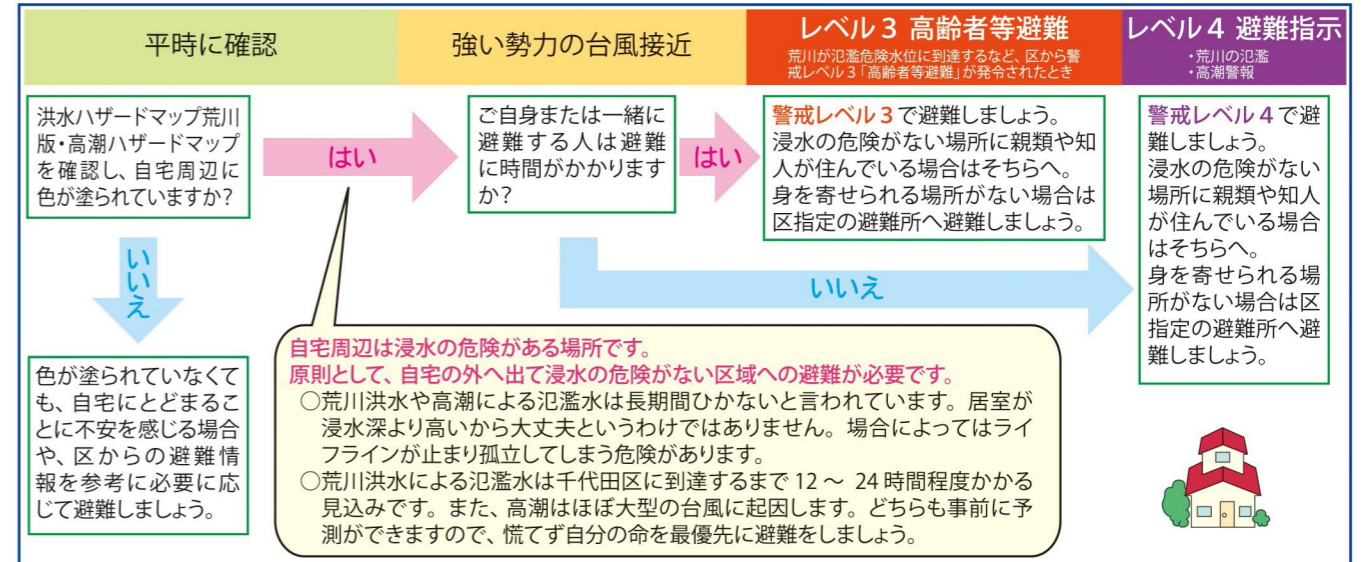
千代田区安全・安心メール スマートフォン用
 気象庁HP
 千代田区河川情報システム
 荒川下流河川事務所HP

台風や豪雨などの水害に備え、ハザードマップと一緒に避難行動を確認しよう！

神田川洪水・土砂災害 避難行動判断フロー



荒川洪水・高潮浸水 避難行動判断フロー



- ⚠ 「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は無理に避難する必要はありません。
- ⚠ 避難先は区指定の避難所だけではありません。親類や知人と日頃から相談し、「縁故避難」も考えましょう。

○千代田区ハザードマップは千代田区役所本庁舎4階（災害対策・危機管理課）、2階区政情報コーナー、各出張所に置いてあります。また区HPに掲載してありますので、ぜひご利用ください。